

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ.計画・設計・施工の最適化【1】計画・設計の見直し】

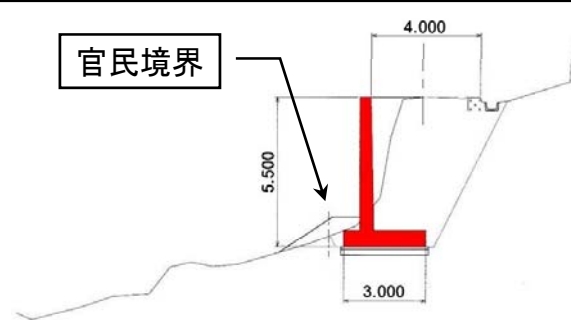
用地の提供による工法の見直し

事業名：市道荒股線道路災害復旧事業

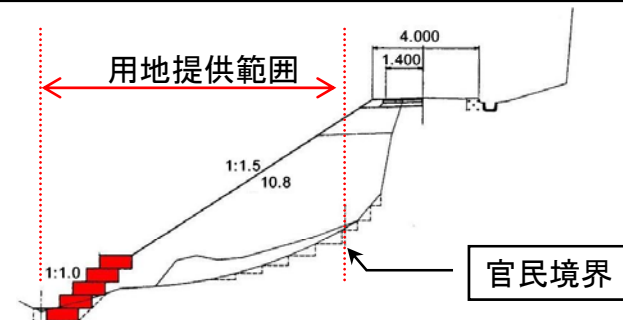
概要：道路用地が狭く、逆T型擁壁・L型擁壁での工法を考えたが、査定申請前に地権者へ用地の提供について交渉し協力を得られたことから、フトンカゴ工に変更した。

効果

- 工事費が約7,000千円から3,300千円となり、3,700千円(約52%)のコスト改善が図られた。
- フトンカゴ工とすることにより、約2ヶ月を要する工事が、約1ヶ月に短縮された。



当初 逆T型擁壁 L = 12.2m
L型擁壁 L = 8.0m
工事費(土工含) 7,000千円



変更 フトンカゴ工 L = 30.0m
工事費(土工含) 3,300千円